

No.502

さんようちゆう 三葉虫



頭部

腹部

尾部

そくよう 側葉	ちゆうじく 中軸	そくよう 側葉
------------	-------------	------------

図1 三葉虫の化石

さんようちゆう こせいだい き やく おく
三葉虫は古生代のカンブリア紀(約5億4
せんまんねんまえ きまつ やく おく せんまんねんまえ
千万年前)からペルム紀末(約2億5千万年前)に
い うみ せつそくどうぶつ からだ せつかいしつ かつ
生きていた海の節足動物です。体は石灰質の硬
から ほうこう ぶぶん ま なか
い殻からなり、タテ方向に3つの部分(真ん中の
ちゆうじく そとがわ そくよう わ
中軸と外側の2つの側葉)に分かれることから、そ
な ず おお い か
の名がつけられました(図1)。大きさは1cm以下から
さいだい
最大80cmくらいです。

すがた め なが
その姿はカタツムリのように目が長くのびたもの
おお と
や、多くのトゲをもつものなどバリエーションに富ん
め おな ふくがん ちい
でいます。目はトンボと同じように、複眼という小さな
しゅうごうたい ず てき おそ
レンズの集合体からなります(図2)。敵に襲われた
とき からだ まる み まも
時は、ダンゴムシのように体を丸めて身を守ってい
かんが ず
たと考えられています(図3)。

さんようちゆう かせき とやま はっけん
三葉虫の化石は富山では発見されていませんが、
きんけん にいがたけんいとい がわし ぎ ふけんたかやまし ふくい
近県では新潟県糸魚川市や岐阜県高山市、福井
けんおおのし せつかいがん み
県大野市の石灰岩から見つかっています。

とうかん かい じかん なんべい
当館1階の「とやま・時間のたび」では、南米ポリビ
さん さんようちゆう なら てんじ
ア産の三葉虫をずらりと並べて展示しています。
ふじたまさと
(藤田将人)



図2 三葉虫の目



図3 丸くなった三葉虫

こんげつ
今月のかがくのギモン

うし あし ゆび なんぼん
ティラノサウルスの後ろ足の指は何本ですか？

こた とうかん らん
(答えは当館ホームページをご覧ください)